

昭和六十二年現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

① 第二十回中央教化研究会議の企画と運営

- (イ) 九月上旬 池上本門寺にて 一泊二日
- (ロ) 第二十回記念としてテーマを設定
- (ハ) 教務部・現宗研にて協議し、現宗研嘱託・顧問・

研究員にて運営委員会を開いて企画・運営の要綱を決める。

② 教区教化研究会議の開催運営

(イ) 十教区にて開催

- (ロ) 中央教研のテーマに基づき、各教区・管区における、共通して推進し得るテーマを企画し、日常教化上の問題点を意見交換をしつつ、統一目標を定めてその推進の方向と施策を図る。

- (ハ) 地域の独自性を加味し、中央教研の企画に沿いつつ、教区運営委員会にて企画・準備・運営に取り組む。

2、研究

① 日蓮教学思想の現代化

- (イ) 中央・地域の教研会議にて教学の布教教化現場における活性化を図っていく。

② 教化学研究

- (イ) 教化学研究集会を年二回開催する。
- (ロ) 教化の在り方を学習し、布教資料を収集、作成する。

③ 日蓮主義研究

- (イ) 法華経・日蓮聖人研究セミナーを年一回開催する。

- (ロ) 日蓮聖人の信行観・社会観・教団論・教化論など、現代の諸問題と教学・教化の研究を継続して進めていく。

④ 新興宗教研究

- (イ) 現代宗教研究セミナーを開催する。

(ロ) プロジェクトチームにて新興教団の歴史と現状を研究し内容をまとめる。

⑤お題目総弘通運動研究

(イ) 運動推進の昭和六十二年度計画を検討する。

(ロ) 信行会活動を調査し、信行会づくりと運営についての手引書を作成する。

(イ) お題目普及と唱題実修にむけて、実行の具体策を研究する。

⑥現代社会の諸問題と日蓮宗教化（研究例会）を基本テーマとした、各研究員分担テーマの、日蓮宗教化との関わりを研究、まとめていく。

⑦その他の研究

(イ) 現宗研創設二十五周年記念講演会—現代宗教研究講座—の開催。

(ロ) 教団史研究—昭和六十一年の年次年表を作成する。

(イ) 仏教各宗教化研究機関交流会への参加。

調査

①寺院調査プロジェクトチームにて調査活動を進めて

いく。

(イ) 山梨・福井・島根・北海道・千葉・京都・秋田など過疎寺院調査を総括し、白書としてまとめていく。

(ロ) 都市過密化現象の中にある寺院、都市周辺部の寺院状況、新寺建立の経過などについての寺院調査を行う。

②現代社会の宗教意識調査をまとめ、宗教に対する現代人の動向をさぐる（新宗教研究に関連して）。

③信行活動に関する実態調査

④現代社会の諸問題についての資料の収集・保管・分類・作成し、教化センター機能の充実を図る

4、編集出版

①「現代宗教研究」（所報）第二十二号の発行

②教化教材資料の作成・配布

③所蔵図書目録の作成

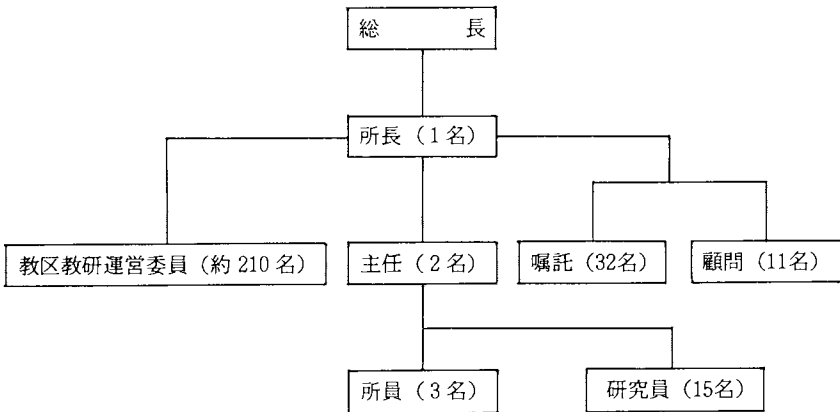
④その他必要な資料の発行

5、会議

①顧問会議—報告と計画・研究推進の検討

- ② 囑託会議 — 各自各種の教化についての研究と教化研究会の企画・運営、教化活動の実施について
- ③ 研究員会議 — 年度研究調査活動の検討と教研会議の検討・運営
- ④ お題目総弘通運動院内プロジェクト会議への参画

日蓮宗現代宗教研究所組織図 (昭和61年5月現在)



現代宗教研究所活動図

